



2025 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 楠元 健一郎
(コード 7918、東証スタンダード市場)
問い合わせ先 常務執行役員経営推進本部長 羽根 英臣
電 話 番 号 03-5155-6801

**2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び
通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

2025 年 5 月 13 日に公表いたしました 2026 年 3 月期第 2 四半期累計期間（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）の連結業績予想と本日公表の実績において、下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2026 年 3 月期通期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

**1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異
（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）**

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,920	140	110	60	1.31
実績値(B)	8,767	△44	△81	△93	△2.05
増減額(B-A)	△153	△184	△191	△153	
増減率(%)	△1.7	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	8,742	197	162	84	1.89

**2. 2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正
（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）**

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,720	310	230	110	2.41
今回発表予想(B)	17,500	100	20	0	0.00
増減額(B-A)	△220	△210	△210	△110	
増減率(%)	△1.2	△67.7	△91.3	△100.0	
(ご参考)前期実績 (2025 年 3 月期)	17,373	198	122	△19	△0.44

3. 差異及び修正の理由

当第2四半期連結累計期間においては、売上高は前年同期をわずかに上回ったものの、依然として個人消費の節約志向が続き、特に7月以降の猛暑や天候不順の影響等により、客数の回復が想定を下回りました。この結果、売上高は当初予想に比べ153百万円の減少となりました。

一方、原価面では、食材仕入価格の上昇および物流費の高止まりにより、売上原価率が前年同期比で約2.0ポイント上昇し、当初予想に対して約150百万円の営業利益のマイナス影響となりました。コストを適切にマネジメントするためにグループの物流体制の再構築を進めておりますが、切り替えによる一時コストが生じたこと等により効果の発現が想定より遅れており、コスト抑制効果は限定的となっております。

また、人件費については、最低賃金の改定や人手不足に伴う時給上昇の影響等により、前年同期比で約0.8ポイント上昇し、当初予想に対して約35百万円の営業利益のマイナス影響となりました。

これらの結果、営業利益は当初予想に比べ184百万円の減少、経常利益は当初予想と比べ191百万円の減少となりました。親会社株主に帰属する中間純利益については、経常利益の減少影響に加え、繰延税金資産の計上により税金費用が減少したことから、当初予想に比べ93百万円の減少となりました。

下期にむけて、すでに拡販施策、価格改定、原価・人件費を中心としたコスト削減などの収益改善施策を進めており、これらの効果が順次発現することを想定しております。

通期業績予想においては、売上高は各業態における価格改定の効果の発現を見込むものの、新店数の未達などを考慮し、当初予想に比べ220百万円の減少を見込んでおります。

各利益項目は、上期の影響額に、下期の売上高の減少に対応する利益減少を加味し、営業利益及び経常利益は当初予想に比べ210百万円の減少、親会社株主に帰属する当期純利益は110百万円の減少を見込んでおります。

注) 本資料における上記の予想を含む記述は、発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。今後、業績予想の修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以上